神宮寺小学校
理科室通信

理科室からこんにちは

第 38 号

～　親子で理科を楽しもう　～

平成 21 年 4 月 20 日

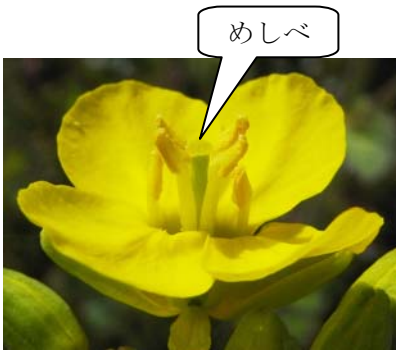
～　タンポポの花　～

土手を親子が歩いています。
「菜の花がきれいだね，お父さん。」
「うん，そうだね。」
「菜の花の花びらは何枚か知ってる？」
「ああ，知っているよ。４枚だ。」
「すごーい，よく知っているね。」
「そうかい。ありがとう。」
「じゃあ，タンポポは？」

（写真1　タンポポの花）

「ええっ？花びらがいっぱいありすぎて分かんないよ。」
「へへ～，ひっかかった。お父さん，実はタンポポの花びらは１枚なのよ。」
「ええ～(@o@;)なんで～？いっぱいあるじゃない。」

菜の花（アブラナ）は，花びら４枚の真ん中にめしべが１本凛々しく立っていますね（写真２参照)。スイセンやチューリップ，アサガオも花の真ん中にめしべが１本あるのはご存知でしょう。そんな見方でタンポポの花を見てみると…。何と，めしべがたくさん見えるではないですか。これはどういうことでしょうか。



（写真2　菜の花(アブラナ)）

そこでタンポポには気の毒だったのですが，花をバラしてみました（写真３参照)。

１本のめしべに１枚の花びら，根元には種のもと，そして綿毛という構成に見えます。これで１つの花なのです。花びらがたくさんあると思うのも無理はないのですが，お父さんはまちがっていたんですね。この小さな花がたくさん集合して，一つのかたまりを作っているのがタンポポなんです。

（写真３　タンポポの花）

「お父さん，分かった？」
「うん。お母さんにも教えてあげよう。」